

はじめに

平成30年4月17日、全国学力・学習状況調査が全国の小学6年生と中学3年生を対象に行われ、その調査結果が7月末に公表されました。

学力調査から、本県では小学校の算数の主として「知識」に関する問題（A問題）が全国平均と同程度でしたが、その他の小学校の問題と中学校の問題については全国平均を下回りました。鹿児島県の児童生徒の正答率は、例年、全国平均を下回っており、厳しい状況にあります。

学習状況調査から、本県では「地域の行事に参加している」、「ボランティア活動に参加したことがある」、「学校の授業の予習・復習をしている」などの質問項目で全国平均と比べ高い傾向にあり、社会参画に対する意識が高かったり、基本的な学習習慣は身に付いていたりする状況であります。今後とも、本県の児童生徒の良さを伸ばしながら、各学校の取組を充実させる必要があるといえます。

学校教育では、学力向上のみを目的とするものではなく、教科指導だけが学校の活動ではありません。その他にも、生徒指導、キャリア教育・進路指導など、学校教育の中で行われている活動は多岐にわたり、学校現場において職員の方々が日々尽力されていることに、感謝いたしております。しかしながら、確かな学力の定着は、学校教育に求められる中心的な使命です。確かな学力が定着しなければ、児童生徒の将来にも影響を及ぼすことになり、児童生徒の無限の可能性を閉ざしてしまうことにもなりかねません。

まずは、学力向上に向けて、本報告書を用いるなどして、誤答傾向を把握し、自校の児童生徒の実態をしっかりと把握しましょう。そして、それぞれの教科、学年、学校全体で課題を共有し、これまでの授業実践・指導法を振り返りつつ、今後、どのような指導法が成果をさらに伸ばし、課題克服につながるのかを深く追究し、今後の改善策を具体的に進めていくことが必要となります。

各学校においては、児童生徒における学力の状況を踏まえ、平成30年度の鹿児島学習定着度調査（平成31年1月実施）に向けて、学力向上に関する校内研修を一層充実したり、かごしま学力向上支援Webシステムにおける単元の評価問題を繰り返し活用したりして、児童生徒の学力の定着を図っていただきたいと思えます。

本冊子には、確かな学力の定着を図るための「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善や成果があった取組などについての特集を組むなど、学力向上に向けたヒントも盛り込みました。今後の取組の参考にし、積極的に取り入れたり、改善を図ったりし、是非活用いただきたいと思えます。

児童生徒の学力向上は、鹿児島県の喫緊の課題です。県教育委員会としても、全力で各市町村教育委員会及び各学校と協力しながら取り組む所存です。次の鹿児島学習定着度調査、全国学力・学習状況調査において、確かな学力に係る結果が改善するよう取組をお願いします。

目次

○ 県全体の調査結果〔公立〕		
1 教科に関する調査の結果概要	_____	1
2 地区別の平均正答率	_____	2
<特集>	_____	3
特集1 確かな学力の定着を図るために「主体的・対話的で深い学び」 の視点による授業改善を図りましょう		
特集2 成果があった具体的な取組事例		
特集3 児童生徒の学力向上を目指して学校全体で取り組んでいくために ～校内研修のすすめ～		
特集4 児童生徒の自己有用感を高める集団づくり		
3 教科別及び観点別、領域別の結果概要	_____	11
4 指導法改善のポイント	_____	17
・小学校国語A・B	-----	17
※コラム①		
・中学校国語A・B	-----	20
※コラム②		
・小学校算数A・B	-----	23
※コラム③		
・中学校数学A・B	-----	27
・小学校理科	-----	31
・中学校理科	-----	34
※コラム④		
5 質問紙から見える本県の児童生徒の姿	_____	37
6 児童生徒質問紙の結果概要	_____	39
7 質問紙から見える本県の学校の姿	_____	47
8 学校質問紙の結果概要	_____	49
9 クロス集計結果	_____	53
10 本県の学力向上施策	_____	58
11 全国学力・学習状況調査「学年・領域ごと」整理表	_____	62
12 授業改善のためのチェックリスト	_____	77
○ 市町村別の調査結果	_____	別冊